

肉弾 (1968)

メディア 映画

ジャンル 戦争 青春 コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 116分

初公開日 1968/10/22

公開情報 A T G

【解説】

「独立愚連隊」「日本のいちばん長い日」の岡本喜八監督による戦争ドラマの傑作。特攻隊員となった若者が作戦遂行直前に与えられた一日だけの休日に体験した瑞々しい出来事を通して戦争の愚かさとそれによって踏みにじられた幾多の青春への思いをコミカルなタッチで痛切に描く。

昭和20年夏。“あいつ”は魚雷をくくりつけたドラム缶に入り、太平洋上に浮かんでいた。特攻隊員のあいつは一日だけの外出で色々な人たちに出会った。古本屋の老夫婦、砂丘で知り合った兄弟とおばさん。参考書を持った美しい少女とは、やがて防空壕の中で結ばれた。しかし、その少女は空襲で死んでしまった…。あいつは魚雷と共に復讐へ向かった。そして、ついに敵らしき船を見つけた。

【クレジット】

監督	岡本喜八	
製作	馬場和夫	
脚本	岡本喜八	
撮影	村井博	
美術	阿久根巖	
編集	土屋テル子	
音楽	佐藤勝	
助監督	中西源四郎	
ナレーション	仲代達矢	Tatsuya Nakadai
出演	寺田農	あいつ
	大谷直子	少女
	天本英世	父
	三橋規子	母
	今福正雄	学校長閣下
	笠智衆	古本屋のオジイサン
	北林谷栄	古本屋のオバアサン
	春川ますみ	前掛のオバサン
	園田裕久	教師
	小沢昭一	軍曹
	菅井きん	軍曹のオカミサン
	三戸部スエ	モンペのオバサン
	頭師佳孝	少年・兄
	吉野謙二郎	少年・弟
	田中邦衛	区隊長

中谷一郎
高橋悦史
伊藤雄之助
宮本満里子
津田亜矢子
武藤洋子
長谷川弘
阿知波信介

憲兵
ひげの下士官
オワイ船の船長
看護婦A
看護婦B
看護婦C
中隊長
候補生